

どうしてこんなことを思いついたのか？

小さい頃から議論なら絶対誰にも負けないという自信があったが、自分を満足させる論敵がいなかったもので、相手としっかり議論ができて、なおかつ記録が残ればそれを元にまた議論を進められる場所をつくるのが、いろいろなことを話し合うことよりも優先すべき課題で、それさえ何とかなれば、それを元に集合知を使って世の中がよくなるのではないかと思った。

新体道に出会って、私は、すべてのインスピレーションを現実世界に表現したい。インスピレーションとは問題意識であるが、現実化するためには捨て去らなければいけないように現在ではなっている。しかし、いったん保留しておいて後から呼び出して一度受けたインスピレーションはすべて表現したいし、それが人間の能力を高めることだと思っている。また、さんざんいじめられて、その原因は論理的に話せない人間と約束を守る確度を宣言なしに変更することだとわかったので、それを正確に収集して、なおかつ最高の自由を満喫することを目指しています。

また、武道的な組手のレベルで本能を激しく表現しながら、コミュニケーションを取れるとわかったので、それを社会生活にも持ち込みたいと考えました。

2009年10月に伊豆の新体道の合宿で青木先生が天真ゴマという概念を出してきた。、そのとき終わった後にすぐにこれを共有できたら凄いとか これに従って世の中を整理できたら便利だとか、この数学的解釈を作れたら、脳の動きを再現できる。そして、天真ゴマを共有できたら、方向性を持ていいなあと思った。

そしたら、自分は方向性がはっきりしていない とくに天と人々の中間部分がなく 如意棒のないカリン塔と天国のような関係だったので それをつなぐ 如意棒を自分で作った。マンガ ドラゴンボール参照

僕の先生は体系的に物事を把握することにとっても優れている人間なので、私はその能力を大いに受け継ぎ、体系的かつ抽象的に物事を把握する能力を身につけました。したがって、そういった能力のない人間と話すとき全く話が噛み合わないの、それを解決する必要性が更に生まれました。

現在の物理脳のみを扱う脳科学には天地(哲学)の概念が消失していて、社会的平面ばかり考えているのが欠陥である。ということを感じていた。それを研究するためには、天地方向の情報を記述して観測すればより研究が深まるはずだと推測した。

2011年2月ネパールのコンピューター技術者と会って、彼らは宗教的に凄い信仰心を持っているけれどもそれが全てで、信仰心毎にコミュニティーを作っていると思いました。

彼らの概念と日本の概念がぶつかったときに、宗教の違いと社会的違いを同一平面上でとらえてしまうとずっと理解できないままだから、それを分けてあげるために天真ゴマを使ったらよいのだということに気づいて、最初はblenderでやろうと思った。

3dモデリングソフトで自分の天真ゴマを作ったが、これでは操作性がよくないと、それぞれの要素の距離というのは特に関係ないということに気がつきました。

化学記号の周期表のように空欄を使って将来の発見に備える意味がないのです。

従って、SNSの関係を図に置き換えるアプリケーションを利用して、3dモデルを描画しようと考え

た結果、SNSをwikiで行えば今ある全てのwebサービスは統合できると考えたのです。

その後、5大CMSを分析して抽象化して統合することを思いついて、それをいろいろと改良していくうちに、2012年の6月ごろにyoutubeのプレイリストとニコニコにタグを組み合わせたタグ通貨を考えつきました。

以前から中央銀行制度に対して問題だとは思っていましたが、どのように問題なの本に書いてある以上のことは理解できていませんでしたが、通貨を設計していると、いろいろなことが問題になっていると理解してきました。

タグ通貨があまりにも強力で悪用されると大変だったので、SRNS自体の自己消滅機能をより強化して、共産主義のようにならないように改良をし続けました。2012年11月初旬に天真五相と連結することができたので、自分がどこまでできるのか再検証して、基本設計を終えました。その後11月下旬にSRNSで行う栄光の定義を終えました。